

# 米沢興讓館高校SSH通信

さる3月、各学会の春季大会が行われた。本校生徒は日本再生医療学会、日本農芸化学会、日本水産学会の高校生による研究発表部門に参加し、ポスター発表(口頭発表)した。また、全国のSSH指定校に在籍する生徒を対象とした公益財団法人かずさDNA研究所による「かずさの森のDNAキャンペーン」にも本校生徒が3月25日から三日間参加した。参加した模様をそれぞれお伝えする。



かずさの森のDNAキャンペーンに参加して  
二年 探究科 男子  
私は三月二十五日から三日間にわたって開催された「かずさの森のDNAキャンペーン」高校生を対象としたハイレベル生命科学講座「」に参加しました。全国から十二人の高校生が集まり、DNAについて互いに学び、深め合うことのできた三日間でした。  
プログラムの中にはサンガー法と呼ばれるコンピュータを用いた遺伝子解析の体験など、学校では体験できないような事もありました。しかし、今回の目玉は、全国のハイレベルな人々との交流だったように思われます。この講座には全国のSSH指定校の生徒が結集しており、中には生物学オリンピックで国内上位十パーセントの実力を持った強者の姿もありました。彼らの個人研究はどれも興味深く、自分の研究、モチベーションの向上に繋がると共に、広い知見を持ち、様々な人との関わりを持つことの重要性を実感することができました。今後もしこのような機会があった際には、皆さんも積極的に参加してみても如何でしょうか？

## 生徒の学会発表特集

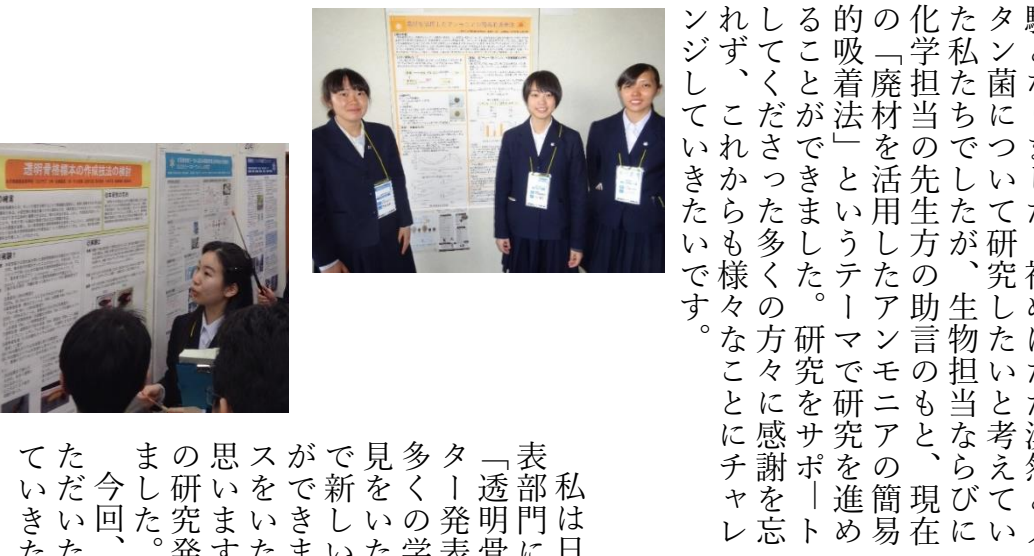
日本再生医療学会に参加して  
三年 普通科 女子  
私たちCSSクラブECM(細胞外マトリックス)班は3月21日と22日に神戸国際展示場で開かれた、日本再生医療学会総会内の中高生のためのセッションに参加してきました。今回はポスター発表をするコースと、これからの再生医療についての考えをプレゼンテーションするコースの二部門に参加してきました。  
発表では「筋肉の再生」をベースとした発表・プレゼンを行いました。研究だけでなく社会での倫理問題など、普段の研究発表よりも幅広い視野が求められることが多く、下調べに苦労しました。  
コース内では発表のほか、学会の企業ブース見学とiPS細胞研究の山中伸弥先生を始めとする再生医療研究を行っている方々の講演がありました。  
今回の学会では、再生医療が私たちのすぐ手の届くところまで進歩しているのだということ、また、再生医療には文系理系の枠を超えて様々な人がかかわっていることを知りました。  
大会に参加するにあたって協力をしてくださったすべての方々にこの場を借りて感謝申し上げます。応援ありがとうございます。

二部門で銀賞受賞！  
大会に参加するにあたって協力をしてくださったすべての方々にこの場を借りて感謝申し上げます。応援ありがとうございます。



ジュニア農芸化学会に参加して  
三年 理数科 女子

私たちは、東京農業大学で開催されたジュニア農芸化学会に参加し、これまでの研究成果を発表してきました。学会を通して、自分たちの研究成果を相手に伝えることの大切さを学びました。また、今までの異なる分野どうしの発表の場ではなく、今回は同じ分野における発表であったため、より専門的なアドバイスや質問をたくさんいただきました。入賞はできませんでしたが、自分たちと同じ分野で研究をしている方々との交流は、とても貴重な経験となりました。初めはただ漠然とメタン菌について研究したいと考えていた私たちが、生物担当ならびに化学担当の先生方の助言のもと、現在の「廃材を活用したアンモニアの簡易的吸着法」というテーマで研究を進めることができました。研究をサポートしてくださった多くの方々に感謝を忘れず、これからも様々なことにチャレンジしていきたいです。



日本水産学会春季大会に参加して  
二年 理数探究科 女子  
私は日本水産学会春季大会の中高生ポスター発表部門に参加しました。そこで自身の研究である「透明骨格標本の作製技法の検討」についてポスター発表をさせていただきました。学会に参加することで多くの学生や研究者の方からの客観的な質問や意見をいただきました。お互いに討論していくことで新しい発見があり、今後の課題も見つけることができました。そして、専門家の方からアドバイスをいただくことで自身の研究の幅が広がったと思います。また、研究者や他の高校生、大学生の研究発表を聴くことで視野を広げることもできました。  
今回、新しく発見した課題と沢山の方々からいただいたアドバイスを今後の自身の研究に活かしていきたいと思っております。

更なる高みを目指して  
二年 普通科 女子  
私たちの研究班は東京海洋大学で行われた「日本水産学会春季大会」に出場し、「環境ストレス耐性を持つ微細藻類の探索」という題目でポスターセッションを行いました。学会発表なので、生物分野に精通した大学教授の方や高校の先生方から適切なアドバイスを頂くことができました。  
大会では、自分たちの研究内容に興味を持ってくれる方が多く、研究を続けてきてよかったなと思えました。自分の言葉で相手に研究内容を発表し、内容だけでなく研究の楽しさややりがいを感じていくことができた喜びは、私にとってかけがえのない宝物です。学会で得た自分たちの研究に対する自信を、今後の活力に変えていきたいです。  
このような素晴らしい大会に参加するチャンスを与えてくださった先生方、指導してくださった山形大学工学部の先生方、本当にありがとうございました。

